

① 機 種

NO.	機 種	床 面 積	間 口	奥 行	積 雪 強 度
1	NXN-08DL	N × 0.78m ² (0.24坪)	820mm	950mm	【※1】
2	NXN-11DL	N × 1.12m ² (0.34坪)		1370mm	・ 一般型・多雪地型・豪雪地型共通仕様：4500N/m ² 安全の為、1.3m以上積もらないように雪降しをして下さい。
3	NXN-12DL	N × 1.25m ² (0.38坪)		1530mm	
4	NXN-09DL	N × 0.90m ² (0.27坪)	950mm	950mm	【※1】
5	NXN-13DL	N × 1.30m ² (0.39坪)		1370mm	・ 一般型・多雪地型・豪雪地型共通仕様：4500N/m ² 安全の為、1.3m以上積もらないように雪降しをして下さい。
6	NXN-14DL	N × 1.45m ² (0.44坪)		1530mm	

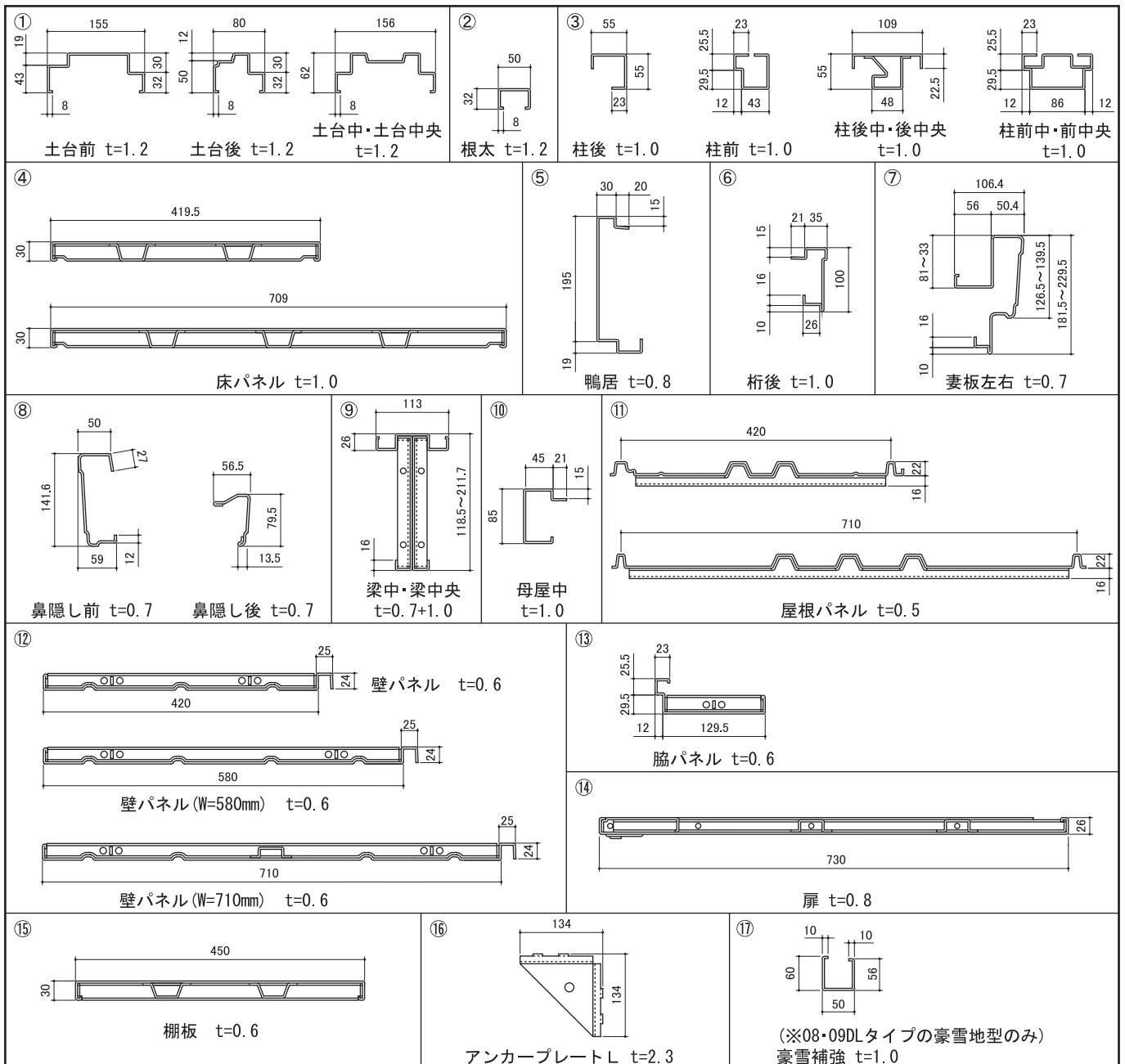
【※1】

- ・ 一般型・多雪地型共通仕様：3100N/m²
 - ・ 豪雪地型：4500N/m²
- (安全のため、一般型・多雪地型は1m以上、豪雪地型は1.3m以上積もらないように雪降しをして下さい。)

② 主要部材仕様

品番	主要部材	材質	呼び厚さ (mm)
①	土台 枠	溶融亜鉛めっき鋼板/F12 (JIS G 3302)	1.2
②	根 太	〃	1.2
③	柱	〃	1.0
④	床 パ ネ ル	〃	1.0
⑤	鴨 居	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10 (JIS G 3317)	0.8
⑥	桁 後	〃	1.0
⑦	妻 板 左 右	〃	0.7
⑧	鼻 隠 し 前 後	〃	0.7
⑨	梁 中 ・ 梁 中 央	溶融亜鉛めっき鋼板/F12 + 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10	0.7+1.0
⑩	母 屋 中	溶融亜鉛めっき鋼板/F12 (JIS G 3302)	1.0
⑪	屋 根 パ ネ ル	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10 (JIS G 3317)	0.5
⑫	壁 パ ネ ル	溶融亜鉛めっき鋼板/F12 (JIS G 3302)	0.6
⑬	脇 パ ネ ル	〃	0.6
⑭	扉	〃	0.8
⑮	棚 板	〃	0.6
⑯	アンカープレートL	〃	2.3
⑰	※ 豪 雪 補 強	〃	1.0

※印は08・09DLタイプの豪雪地型のみ



③ その他の部品仕様

部 品 名	材 質	表 面 処 理 ・ 色
ボ ル ト	冷間圧造用炭素鋼線材 (SWRCH 10R)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8 (三価)+ZECコートまたはEp-Fe/Zn [4-C2]
ネ ジ 板	冷間圧延鋼板	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8 (三価)+ZECコート
棚 フ ッ ク	冷間圧延鋼板	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn [4-C2]
把 手	A E S 樹脂	ファインシルバー
ガイ ド リ ン グ	A E S 樹脂	ファインシルバー
錠	亜鉛合金ダイカスト 2種	ニッケル-クロムめっき Ep-Zn/Cu+Ni, Cr [10]
鍵	黄銅板 (C2801P-H)	ニッケルめっき Ep-Bs/Ni [5]
妻板キャップ	アルミニウム合金ダイカスト 12種	ミストグレー (成形後、塗装)
換 気 ガ ラ リ	A E S 樹脂	ミストグレー
ボルトキャップ	A E S 樹脂	ミストグレー
ヒ ン ジ	ステンレス鋼板 (SUS304)	—
ラ ッ チ	ポリアセタール樹脂	—

④ 表面処理及び塗装

- (1) 塗装する素地は下地処理をするものとし、脱脂、水洗工程を経て化成処理をしております。
- (2) 塗装は高性能ウレタン樹脂を使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
- (3) 膜厚及び塗装色は下表に示す通りです。

塗 装 部 品	膜 厚		塗 装 色 (マンセル番号)
	屋 外 面	屋 内 面	
土 台 枠 (※)	30 μ m 以上	25 μ m 以上	ミ ス ト グ レ ー (N7)
根 太 (※)	25 μ m 以上	20 μ m 以上	
柱	30 μ m 以上	25 μ m 以上	
床 パ ネ ル (※)	25 μ m 以上	—	
屋 根 パ ネ ル (※)	30 μ m 以上	—	
梁 中・梁 中 央 (※)	—	—	
母 屋 中 (※)	—	20 μ m 以上	
壁 パ ネ ル	30 μ m 以上	25 μ m 以上 (※)	
棚 板 (※※)	—	20 μ m 以上	
ア ン カ ー プ レ ー ト (※)	25 μ m 以上	—	
鴨 居	30 μ m 以上	25 μ m 以上	
桁 後	—	—	
妻 板 左 右	—	—	
鼻 隠 し 前 後	—	—	
脇 パ ネ ル	—	—	プ レ ミ ア ム グ レ ー (—)
扉	—	—	

※印の塗装は、アクリル樹脂を使用
※※印の塗装は、高耐候性粉体ポリエステル樹脂、又はアクリル樹脂を使用

⑤ 耐久性

◎ 塗装面

(1) 硬 さ 試 験	硬度2Hの鉛筆引っかき試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(2) 付 着 性 試 験	100/100基盤目試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(3) 耐 お も り 落 下 性 試 験	撃芯直径12.7mmに500mmの高さから500gのおもりを落とす耐おもり落下性試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(4) 耐 塩 水 性 試 験	約20℃の3%の塩水に100時間浸す耐塩水性試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(5) 耐 食 性 試 験	5%の塩水噴霧試験法 (JIS Z 2371) に500時間耐えること。
(6) 耐 候 性 試 験	サンシャインウェザーメーターによる促進暴露試験 (JIS A 1415) で300時間の照射に耐えること。

◎ 扉の可動

(7) 耐 久 性 試 験	扉は、開閉繰返し性試験 (JIS A 6603) に耐えること。 錠には、雨水およびホコリの浸入防止カバーを取り付け長期の使用に耐えること。
---------------	---